

1. 履修の基本

学則第25条

授業科目を履修する場合、その授業に出席し、かつ試験に合格した者には、その授業科目所定の単位を与える。

1. 履修とは

大学では学生が自分自身の意志で受講したい科目を選んで履修計画を立て、登録を行い、卒業に必要な単位を修得していきます。この登録から単位の修得までの流れを「履修」と呼びます。

2. 単位とは

すべての科目には一定の単位が定められています。これら科目を履修して試験などに合格すれば単位が修得できます。単位数の計算方法は科目の種類によって異なります。

短期大学設置基準および学則第26条に「授業科目の単位数は、1単位履修に45時間の学習を要することを標準とし」と定められており、単位を修得するために、授業時間以外にも学習のための時間が要求されます。

単位制とは、修業年限（2年）に所定の科目を履修し、単位を修得することによって卒業できるという制度です。卒業に最低必要な単位を「卒業要件単位」と呼びます。

3. 試験とは

試験とは学生の学習効果を問う一つの方法であり、大学における最も重要な履修上の活動の一つです。試験に合格して、はじめてその科目の単位が与えられることになります。

4. 卒業の要件とは

卒業の要件とは学則第40条に定められている通り、本学を卒業するための定められた条件です。

- ① 修業年限（2年）を満たすこと。
- ② 卒業に必要な所定の単位（卒業要件単位）66単位以上を取得すること。

2. 授業

1. 学期と授業期間

授業は、一年度を春学期と秋学期の2学期にわけて実施されます。授業はセメスター制により、春・秋各学期15週で完結します。授業は週2回行われる科目が中心ですが、一部の授業は週1回で行われます。

学期とは別に特定の期間を定めて授業を行い、その期間内で完結する授業を行う場合があります（集中講義）。

2. 授業時間

<月・火・木・金>

1時限	9:20 ~ 10:50	2時限	11:00 ~ 12:30
3時限	13:20 ~ 14:50	4時限	15:00 ~ 16:30
5時限	16:40 ~ 18:10		

<水>

1時限	9:20 ~ 10:50	2時限	11:00 ~ 12:30
3時限	13:20 ~ 15:20	4時限	15:30 ~ 17:00

水曜日の3時限はAssembly Hourであり、合同授業、各種行事、キャリア講座、各種ガイダンスなどの多目的に利用される時間帯です。

3. 授業の出欠席

大学の単位認定は、授業時間数が基礎になっています。やむを得ない場合を除き、毎時間の授業への参加を重視します。

- ・授業への遅刻は厳に慎んで下さい。遅刻者の入室を拒否する場合があります。
- ・単位修得の場合には、各授業科目とも授業時間数の3分の2以上の出席が必要です。3分の2以上の出席とは、不可抗力による欠席の可能性を考慮してのことですので、3分の1まで欠席してよいということではありません。
- ・欠席時間数が授業時数の3分の1を超える者は、原則定期試験の受験資格を失います。ただし授業方針によっては、その比率に関係なく受験資格を失うことがあります。
- ・授業に欠席する者は、各担当教員に欠席の理由を報告して下さい。なお、個々の授業科目担当教員に医師の診断書を提出する必要はありません。
- ・病気等により欠席が2週間を超えるときは、医師の診断書1通を添え、長期欠席届（所定用紙）を事務室に提出して下さい。
- ・引き続き3ヶ月以上欠席するときは、休学願（所定用紙）を提出し許可を受けることが必要です。

4. 教室

授業は、基本的に時間割に示されている教室で行われます。ただし、履修登録後の受講者数によって教室が変更になる場合もあります。この場合は、掲示板でお知らせしますので、各学期の始めは特に注意して下さい。授業期間中に、設備等の都合で一時的に教室が変更となる場合も、掲示板で「臨時教室変更」によりお知らせします。

5. 休講

担当教員が公務、出張、学会、病気などによってやむを得ず授業を休む場合には掲示板でお知らせします。万一連絡がなく、授業開始より20分を経過した場合には事務センターの指示を受けてください。

6. 補講

各学期授業期間終了後に、補講期間を設けています。補講期間中の時間割の発表についてはP.43を参照して下さい。

7. 祝日の授業日、臨時休講日

授業日数や定期試験日数の調整のため、特定の祝日にも授業を行うことがあります。また臨時休講日を定めることがあります。2008年度は下記の通りです。

- | | | | |
|-------|-----------|-------|-----------|
| 【春学期】 | 4月29日（火） | 昭和の日 | 授業実施日 |
| | 5月2日（金） | 臨時休講日 | |
| | 7月21日（月） | 海の日 | 試験実施日 |
| 【秋学期】 | 9月15日（月） | 敬老の日 | 授業実施日（注1） |
| | 10月13日（月） | 体育の日 | 授業実施日 |
| | 10月27日（月） | 臨時休講日 | |

（注1）2008年9月15日（月）は水曜日の時間割で授業を行います（みなし水曜日）

8. 交通機関不通の場合の授業

交通ストライキに伴う休講措置は次のとおりです。

- 小田急線または首都圏のJR線がストライキのとき、午前6時の時点で未解決の場合は全学休講とする。
- 私鉄のみ（小田急線を除く）がストライキのときは、授業は平常どおり行う。

3. 履修登録

(別途配布される「履修登録の手引き」も熟読して下さい。)

1. 履修登録の基本

学則第32条
履修しようとする科目は、毎学期所定の期間に登録しなければならない。

- * 春学期開講科目は春学期に、秋学期開講科目は秋学期に登録します。
- * 所定期日までに登録を怠れば、その年度の履修権利を放棄したことになります。
- * 登録していない科目の授業や試験を受けても単位認定されません。登録は慎重に行いましょう。

2. 履修登録関連日程

	春学期	秋学期
必修クラス発表	2年次：3月14日（金） 1年次：4月4日（金）	
新学期ガイダンス 人数制限科目の履修手続き	2年次：3月27日（木） 1年次：4月4日（金）ガイダンス 4月7日（月）履修手続	全学生：9月10日（水）
人数制限科目の手続結果発表	全学生：4月8日（火） 【場所】 2年次：4号館掲示 1年次：リエンテーションキャンプ 発表	全学生：9月11日（木）
履修・進路相談 (アドバイザー)	2年次：3月27日（木） 28日（金） 31日（月） 1年次：4月8日（火） 9日（水）	全学生：9月11日（木） 12日（金）
履修登録	全学生：4月10日（木） 11日（金）	全学生：9月11日（木） 12日（金）
授業開始	4月11日（金）	9月15日（月）*みなし水曜
履修登録確認表配布・修正登録	4月21日（月） 22日（火） 23日（水）	9月22日（月） 24日（水） 25日（木）
修正登録確認表配布	4月25日（金）	9月29日（月）

* 人数制限のある科目は履修登録前に仮登録手続きを行い、受講希望者多数の場合抽選を行います。対象科目はP. 57～P. 59、詳細は「履修登録の手引き」をご確認下さい。

3. 履修計画

P. 51から始まる「5. カリキュラムについて」を熟読し、2年間で何をどのように学びたいか方向を定め、卒業要件単位、履修上の注意、シラバス、時間割（必修科目の時間帯の確認）、ガイダンスでの説明等を参考にし、それぞれの学期の履修計画をしっかりと立てて下さい。

- * 卒業に必要な単位数およびその内容に関する定めは厳格なものであり、1科目・1単位の不足があっても卒業資格は与えられません。卒業要件単位については十分に注意し、選択の仕方を考え、無理のない計画を立て、自分自身の時間割を作成して下さい。

5. 履修・進路相談（アドバイザー履修計画票確認）

履修登録をする前に、アドバイザーと面談し、履修計画表にサインを受けて下さい。

アドバイザーとの面談日は定められた相談期間内に、各自で確認をとって下さい。履修で不明なことは必ず、アドバイザー、事務センター教務担当まで尋ねるようにして下さい。うわさや思い込みで惑わされることなく、わからないことは必ず確認して下さい。

6. 履修登録

時間割が定まったら、アドバイザーのチェックを受けた「履修計画表」と「履修届（OMR用紙）」を定められた履修登録期間に事務センターに提出して下さい。

7. 登録確認表の受取り

登録した授業科目・担当教員がすべて正しく登録されているか、自らの責任において必ず確認して下さい。登録確認表で確認をせず、登録ミスがあった場合、卒業にも重大な支障を生じる場合がありますので確認表の受取・確認は必ず行ってください。

8. 修正登録

履修計画の変更や登録の間違いがあった場合、修正登録期間に登録の修正（追加・取消）ができます。抽選で当選した科目は原則的に取消しできません。修正登録で新たに科目を登録しようとする場合は、事前に担当教員の了解を得た上、出席して下さい。修正登録をした学生には、新たに修正登録確認票を配布します。修正登録後の追加・変更はできません。（「履修中止」のみ可能。）

9. 履修登録の上限

各学期に履修できる単位数の上限は以下の通りです。

春学期	秋学期
24単位	24単位

10. 履修中止

履修登録を完了し、実際に授業に出席したものの、授業の内容が自分の勉強したいものと違っていた、授業のスピードについていけないだけの知識が不足していた、健康上の理由から履修科目数を減らしたい、といった理由から学期の途中で履修を中止できる制度です。

履修中止期間	
春学期	2008年6月23日（月）～7月4日（金）
秋学期	2008年12月1日（月）～12月12日（金）

（注意事項）

- ① 必修科目は履修中止できません。
- ② 履修中止届（所定用紙）に記入し期間内に事務室に提出して下さい。期間を過ぎたものは受付られないので注意すること。また、一度提出した履修中止届を取り下げることはできません。
- ③ 履修中止をした科目は成績表に「W」で表示されます。成績証明書には記載されません。「W」はG.P.A（→P.45参照）の計算に含まれません。
- ④ 履修中止をせずに、教員から指示された試験やレポートなど、必要な課題をこなさなかった場合は、その科目は成績表および成績証明書に「F」（不合格）として記載されます。「F」はG.P.Aの計算に含まれます。

4. 試験

1. 試験

履修科目の成績を評価する方法として、筆記試験、レポート、口頭試験、実技テスト等があります。試験に合格し、その科目の単位が与えられたときは、「成績表」に「評価」を記入して、各自に交付します。

履修届をしていながら受験しない科目は不合格となります。履修届をしていない科目は受験できません。授業料未納者は、試験を受けることができません。

本学で行う試験には、定期試験・臨時試験と追試験があります。

2. 定期試験

各学期の授業期間終了後、試験期間を設けて実施します。試験時間は原則として60分。試験時間割表は、補講期間の時間割とあわせて、補講・定期試験期間開始の2週間前に掲示します。

	補講・定期試験日程揭示日	補講及び定期試験期間
春学期	2008年7月2日(水)	補講期間： 2008年7月16日(水)～7月18日(金) 補講及び定期試験期間： 2008年7月21日(月)～7月25日(金)
秋学期	2008年12月5日(金)	補講期間： 2009年1月7日(水)～1月9日(金) 補講及び定期試験期間： 2009年1月13日(火)～1月21日(水)

<定期試験受験上の注意>

試験は、いずれの試験の場合も、厳正に実施されます。学生は次の心得を守って下さい。

- (1) 試験に欠席する場合は、試験開始時刻に先立って事務室に連絡して下さい。
- (2) 携帯電話の電源を切り、かばんの中にしまってください。
- (3) 試験開始後20分以上の遅刻者は、特別の場合を除き、受験できません。
- (4) 試験開始後30分を過ぎるまでは退場できません。
- (5) 答案を提出せずに退場することはできません。
- (6) 試験場においては、監督者の指示に従って下さい。
- (7) 監督者の指示または注意に直ちに従わない場合は不正行為と見なされ、退場させられます。

<不正行為について>

- (1) 試験における不正行為は、学則第57条によって処分されます。
- (2) 不正行為をおこなった場合、その学期に履修した科目全ての評価が「F」(不合格)となります。
- (3) 停学処分を受けた場合には、停学期間は修業年限に算入されないため、卒業時期は延期となります。

学則第57条

本学学生に対してその本分にもとる行為があったと認められるときは、その軽重にしたがい、譴責、停学又は退学処分とする。

3. 臨時試験(授業内試験)

担当教員が随時授業時間中に行う試験のことです。この場合、試験日時は掲示でなく、主に教室において口頭で伝達されますので確認して下さい。

4. 追試験

追試験とは、病気・忌引・編入学試験等のやむを得ない事由で定期試験を欠席する場合に限り、定期試験に代えて受けることができる試験です。原則として授業内に行なわれる試験は追試験の対象となりません。申請は、最終の試験終了後3日以内に、その理由を詳記し、かつ診断書、その他その事由を証明する書類を添えて「追試験願（所定用紙）」を事務センターに提出して下さい。許可された場合は、所定の手数料（1科目2,000円）を納入したうえで、追試験を受けることができます。追試験の成績の評価は、原則として得点の80%を限度とします。（ただし学校保健法による場合は例外とします。）

詳細は「追試験細則」を参照のこと。

<追試験細則>

(1) 目的

定期試験を受験する資格（履修登録していること。欠席が1／3以上を越えていないこと）を有する者で、下記の理由により未受験で、所定の手続きを済ませた者に対して一定期間を設けて施行する試験のことをいいます。

(2) 日 時

追試験日程及び時間割は別に知らせます。

(3) 成 績

追試験の成績の評価は、原則として得点の80%を限度とします。（ただし、学校保健法による場合は例外とします。）

(4) 受験資格を得るための必要書類

1. 就職試験

当日、会場で担当者の署名、捺印した受験証明書（来社証明書で可）。ただし、間違いなく受験した旨の文章が記載されていること。

2. 編入試験

受験票のコピー

3. 忌 引

葬儀日程のわかる印刷物

4. 交通事故

交通事故証明書（警察署発行のもの）

5. 病 気

医療機関の診断書

6. その他

公的機関の発行した以下の項目が明記された文書

- (a) 該当日時
- (b) 受験できなかった理由を説明する文章
- (c) 機関名と作成者氏名
- (d) 問い合わせ先の電話番号

(5) 申し込み

試験申し込みは、自分が該当する理由に応じて、必要書類と追試験願及び追試験受験料（1科目2,000円）を提出・納入して下さい。

5. 評価

1. 評価基準

学力の評価は、担当教員の授業方針ならびに評価方針により、試験（定期試験及び随時の試験を含む）、レポート、授業参加など学生の学力表示の実績に基づき、短期大学の水準に照らして次の基準で行われます。

		評価		評点	内 容
判 定	合 格	A	100～90点	4.0	特に優れた成績を示したもの
		B	89～80点	3.0	優れた成績を示したもの
		C	79～70点	2.0	妥当と認められる成績を示したもの
		D	69～60点	1.0	合格と認められるための最低限度の成績を示したもの
	不 合 格	F	59点以下	0	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
無 判 定	履修中止	W			所定の期日までに履修中止の手続をしたもの
	認定科目	N	——		修得単位として認定されたもの

2. G.P.A (Grade Point Average)

各科目の成績評価の「評点」値にその科目の単位数を掛け算し、その値の総合計を総単位数で割ったものがG.P.Aとなります。

不合格科目（F）の単位数は計算式の分母に含まれます。所定の期間に履修中止した科目（W）や、単位認定を受けた科目（N）は計算式に含まれません。

<G.P.Aの計算式>

$$4.0 \times A \text{の修得単位数} + 3.0 \times B \text{の修得単位数} + 2.0 \times C \text{の修得単位数} + 1.0 \times D \text{の総修得単位数}$$

$$\text{総単位数 } F = (\text{不合格}) \text{を含む} \quad * W \text{ (履修中止), } N \text{ (認定) は含みません}$$

3. 成績表

春学期の成績表は9月に、秋学期の成績は3月に通知します。G.P.Aは成績表に記載してお知らせします。成績表の配布の方法、期間、場所については別に掲示します。

なお、成績表は各学期の初めに、アドバイザーから履修のアドバイスを受ける際にも必要ですので大切に保管して下さい。

4. 評価の確認

評価について疑問のある場合は、「成績評価確認願」（所定用紙）を下記の提出期限までに事務室へ提出することができます。その際、必ず成績表を持参して下さい。期日を過ぎた場合の願い出は一切受け付けられません。

「成績評価確認願」提出締切日	
2007年度秋学期科目	4月7日（月）まで
2008年度春学期科目	9月10日（水）まで

なお、単に担当教員の情状を求めるものや、他の学生との比較上の不満のみ訴える成績評価確認願は受け付けられません。

5. 再履修

必修科目の単位未修得者は当該科目を次学期もしくは次年度に再履修しなければなりません。再履修者は科目ごとに履修登録前に手続きを行います。手続きの方法は掲示等によりお知らせします。

6. 単位の認定

単位の認定には次の種類があります。

1. 入学前に他大学等で修得した単位の認定

本学が教育上有益と認めるときは、本学の学生が入学前に、他大学において授業科目を修得している単位がある場合、15単位を超えない範囲で本学において修得したものと認定することができます。該当者は入学年の履修登録前までに事務センターに申し出てください。

必要書類：単位を修得した大学が発行する単位修得証明書（オリジナル）
単位を修得した大学の講義内容
修得単位換算願（所定用紙）

2. 海外短期語学講座による単位認定

本学が認定した海外短期語学講座のプログラムに参加し、単位認定を受ける制度です。下記の3つの条件を満たした場合、審査のうえ、専門科目として2単位が認定されます。

1. 本学が認定した下記の海外短期語学講座のプログラムをPass（合格）で修了
2. プログラムの準備教育として定められた必履修科目の単位を修得
3. 帰国後、レポートを提出

2008年度の予定プログラムは次のとおりです。

<夏の海外短期語学講座プログラム>

- A. University of Pennsylvania（米国）
- B. Portland State University（米国）
- C. McGill University（カナダ）
- D. The University of Edinburgh（英国）

実施時期（授業期間）	2008年8月，9月
申込時期	2008年4月 定員以上の応募があった場合は抽選。

<春の海外短期語学講座プログラム>

- E. Monash University（オーストラリア）
- F. University of Auckland（ニュージーランド）
- G. Universidad de Alcala De Henares（スペイン）

実施時期（授業期間）	2009年2月，3月
申込時期	2008年10月 定員以上の応募があった場合は抽選。

* 申し込みの詳細は留学ガイダンス及び掲示によりお知らせします。

* A, B, C, Dのプログラムは、春学期の「留学準備」、E, Fのプログラムは、秋学期の「留学準備」が必履修科目となります。

* Gのプログラムは「スペイン語 I」が必履修科目となります。

* 在学中に複数回、海外短期語学講座に参加することは可能ですが、単位の認定は1回限りです。また抽選になる場合は初回応募の学生が優先となります。

* A, B, C, D, E, Fのプログラム参加者は、出発前と帰国後にTOEIC-IPが必受験となります。

* 夏の短期語学講座プログラムに参加希望の学生はパスポートの取得を急ぐこと。

University of Pennsylvaniaは4月25日（金）までにパスポートを所持していない場合は参加できなくなります。

3. 技能審査（英検、TOEIC等）による単位認定

本学学生が入学前もしくは在学中に、下記のような検定試験のレベルをクリアした場合は、その資格をもって英語科目を認定します。単位認定を希望する学生は、「英語科目の履修免除・単位認定願」（所定用紙）に記入し、下記のレベルをクリアした認定証（オリジナル）を提示して下さい。ただし、当該学生が科目の履修を望む場合は、これを妨げません。申請時期は各学期の履修登録前になります（詳細は掲示）。

実用英検	*TOEIC	TOEFL (Computer-Based) / TOEFL (Internet-Based)	** TOEFL (Paper-Based)	IELTS
準1級以上	700以上	190以上 / 68以上	520以上	5.5以上

*TOEICは公開テスト、および学内で実施されるIPテスト（英語力テスト）のスコアを含みます。

**TOEFL (Paper-Based)は公開テスト、および上智大学四谷キャンパスで実施されるITPテストを含みます。

対象科目

【07年次生以降】

英語選択必修科目を最高6単位まで認定します。

【06年次生以前】

英語必修科目を最高8単位まで認定します。

7. TOEIC目標値設定と学習支援プログラムの受講について（秋学期英語必修の評価付与条件）

本学では、学生のキャリア形成のために、在学中に確実に英語力を伸ばすことが重要であると考えています。個々の学生が着実に英語力をつけることができるように、TOEIC目標値を設定し、それを達成できるように学生と教員が共に努力していきます。TOEICの年間達成目標の最低限は下記の通りです。これを達成できなかった学生は、下記の学習支援プログラム（指定課題の提出と指定期間の英語補習）を受講することが秋学期英語必修科目の評価が付与される条件となります。

*1月の全学生英語力テストで860点を超えた場合は、学習支援プログラムは免除になります。

【目標値】

- 1年次生：4月の新入生英語力テスト（TOEIC-IP）のスコア+50点を
1月の全学生英語力テスト（TOEIC-IP）で取得
- 2年次生：前年度1月の全学生英語力テスト（TOEIC-IP）のスコア+50点を
1月の全学生英語力テスト（TOEIC-IP）で取得

【学習支援プログラム（日程は予定）】

- 2009年1月14日 全学生英語力テスト（TOEIC-IP）
- 2009年1月22日 全学生英語力テスト（TOEIC-IP）結果発表
- 2009年1月27日・28日 プログラム受講対象学生 英語補習担当教員との個別面談（短大キャンパス）
「学習計画（所定用紙）」の相談・提出、「学習記録（所定用紙）」配布、
グループ別課題提示、2月実施TOEIC-IP申込み。
- 2009年1月28日～2月17日 自習期間（自宅）
自習期間中は「学習記録（所定用紙）」をつけ英語補習期間に提出。
グループ別課題への取り組み。
- 2009年2月18日～2月20日 英語補習期間（短大キャンパス）
グループ別課題の成果発表と、自習期間の「学習記録（所定用紙）」
提出。最終日TOEIC-IP受験（有料）。

【学内で行われるTOEIC-IP試験スケジュール】

2008年度

日程	対象者	申込	申込時期（詳細は掲示）
2008年 4月1日	新入生全員【新入生英語力テスト】	不要	2月～3月
	①春期海外短期語学講座帰国者（英語圏） ②その他希望者	必要	
7月23日	①夏期海外短期語学講座出発者 ②その他希望者	必要	6月
9月17日	①夏期海外短期語学講座帰国者 ②その他希望者	必要	7月
2009年 1月14日	全学生【全学生英語力テスト】	不要	2009年1月
2009年 2月20日	①1月の全学生英語力テスト結果において、 年間のTOEIC目標値未達成者 ②その他希望者	必要	

その他、詳細は掲示で発表する。

8. 卒業

1. 卒業要件

卒業要件は次のとおりです <学則第40条>

- ① 修業年限（2年）を満たすこと。
- ② 卒業に必要な所定の単位（卒業要件単位）66単位以上を取得すること。

2. 卒業要件を満たすには

- ① 履修要覧の「卒業に必要な科目・最低単位数」「履修上の注意」（P.52～参照）を熟読して下さい。
- ② 2年間（4学期）の履修計画をよく検討し、卒業要件を満たす登録ができるよう心がけてください。
- ③ 正しく履修登録をし、試験等を受け、単位を修得してください。
履修登録をしたら、必ず登録確認表を受け取り自己の責任において正しく履修登録がなされているか確認をしてください。
- ④ 各学期の成績表を受け取ったら、修得科目・単位数、不足単位数をその都度よく確認して下さい。

3. 9月卒業

年度末に卒業資格を得られなかった学生が、次年度春学期終了時に卒業要件を満たした場合、9月卒業が可能です。9月卒業を希望する学生は学科長の承認を得た上で、春学期の登録前までに事前申請を行ってください。

4. 成業の見込みのない者の取扱い

連続する2ヵ年において（ただし、休学期間を除く）修得した単位が24単位に満たない者は退学となります。 <学則第21条>